



東京都福祉サービス第三者評価

# 評価結果報告書

パレット保育園不動前

平成30年12月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター



## ◆ 第三者評価実施概要 ◆

---

福祉サービス種別 東京都認証保育所

---

事業所名 株式会社理究  
パレット保育園不動前

---

事業所住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 5-12-1

---

評価実施期間 平成 30 年 6 月 12 日～11 月 21 日

---

評価機関 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

---

評価者 修了者No.  
H1201050・H0401031・H0701033・H1401065

---

### 評価手法

#### 【利用者調査／利用者家族アンケート方式】

- ・全園児の保護者（31 家族）に対して、保育園サービス利用者調査として調査票を園から配布し、記入後の回答用紙を保護者より評価機関に直接返送してもらった。

#### 【事業評価】

- ・経営層合議による自己評価の実施
  - ・職員個別回答による自己評価の実施（職員個々で記入後、評価機関に直接返送してもらった）
  - ・訪問調査／利用者調査および自己評価の集計・分析に関する説明  
経営層へのヒアリングおよび標準項目の確認  
書類調査
-

|   |  |
|---|--|
| 1 | <p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述<br/>                 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。<br/>                 2)ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性、知性、体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。<br/>                 3)ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立、自尊、自律」の精神を大切に育てます。<br/>                 4)保育所保育指針に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。<br/>                 5)保育スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。</p> |
| 2 | <p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割<br/>                 パレット保育園の理念・方針を理解し、協力し、向上心のある人</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)<br/>                 安全・安心の環境の中、一人ひとりの子どもを認め、受け止めながら、子どもの主体性を尊重していくこと。</p>   |

調査対象

パレット保育園不動前に在籍している子ども(総数31名)の保護者全世帯(31世帯)を対象として実施しました。

調査方法

アンケート方式により実施しました。保育園職員より全保護者に保護者アンケート調査票を配布してもらい、回答者が直接評価機関に郵送してもらう方法で回収しました。

|                     |      |
|---------------------|------|
| 利用者総数               | 31   |
| 利用者家族総数(世帯)         | 31   |
| 共通評価項目による調査対象者数     | 31   |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数  | 25   |
| 利用者家族総数に対する回答者割合(%) | 80.6 |

**利用者調査全体のコメント**

総合的な満足度は、「大変満足」が76.0%(19名)、「満足」が24.0%(6名)で回答した保護者全員が満足という高い評価が得られています。設問では、「2. 保育所の活動は、子どもが興味を持って行える」、「7.行事の日程」、「8.職員との信頼関係」、「10.職員の接遇・マナー」、「13.子どもの気持ちを大切にした対応」、「14.プライバシー保護」、「15.保育に関する説明」で「はい」という肯定的な回答が17問中、7問で100%という満足度です。自由意見にも、「子どもから、保育園大好き、先生大好きという言葉をよく聞くので安心しています」、「活気のある園で、安心して預けることができます」、「先生たちの子どもへの関わりや、保護者の相談に乗ってくださる様子などから大変満足しています」、「園長先生が交代されましたが、良い雰囲気はそのままで安心の一つです」等、職員の対応や相談しやすい環境作りに満足しているという意見が挙がっています。一方で、「17.外部の相談窓口」について、否定的なコメントは寄せられていませんが、「どちらともいえない」、「いいえ」がそれぞれ8.0%(各2名)、「非該当」が36%(9名)という回答でした。

**利用者調査結果**

| 共通評価項目   | 実数 |           |     |            |
|--|----|-----------|-----|------------|
|  | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答<br>非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか  | 24 | 1         | 0   | 0          |
| 回答割合は、「はい」が96.0%、「どちらともいえない」が4.0%です。自由記述には、「パレット学習タイムというものがあり、集中して話を聞けるようになりました」、「パレット学習タイムは子どもも好きなのですが、親としても大変興味があります」というコメントが寄せられています。 |    |           |     |            |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか  | 25 | 0         | 0   | 0          |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「本人がこれをやりたいというときに、その興味を尊重してくれます」、「いつもいろいろな遊びを工夫してくださいます」というコメントが寄せられています。                            |    |           |     |            |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか  | 23 | 2         | 0   | 0          |
| 回答割合は、「はい」が92.0%、「どちらともいえない」が8.0%です。自由記述には、「見た目、季節を感じる食材など家庭らしい手作りの感のあるもので満足しています」、「食育を取り入れており、家では食べないもの持園では自ら食べています」というコメントが寄せられています。   |    |           |     |            |

|   |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか  | 19 | 6 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が76.0%、「どちらともいえない」が24.0%です。自由記述には、「よく公園に連れていって来て刺激になっていると思います」、「毎日のように散歩に連れ出して来て、商店街とも交流してくれます」というコメントが寄せられています。                        |    |   |   |   |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか  | 17 | 2 | 0 | 6 |
| 回答割合は、「はい」が68.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「非該当・無回答」と回答した方が24.0%です。自由記述には、「当日遅くなって連絡しても嫌な顔せずに対応してくれます」というコメントが寄せられています。                                    |    |   |   |   |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか  | 24 | 1 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が96.0%、「どちらともいえない」が4.0%です。自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。   |    |   |   |   |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か  | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「行事は基本、土日のため助かっています」というコメントが寄せられています。   |    |   |   |   |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか  | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「一緒に子育てしてくれるパートナーと言う感じで大変心強いです」、「相談しやすい雰囲気があります」、「お迎えの際に様子を細かく伝えてくださり、そこで家で様子も伝えて相談したりしています」というコメントが寄せられています。 |    |   |   |   |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか   | 23 | 2 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が92.0%、「どちらともいえない」が8.0%です。自由記述には、「狭いので仕方ないが、駅に近いのでありがたい」というコメントが寄せられています。   |    |   |   |   |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か  | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「みなさんとても優しく、明るいと思います」、「先生たちの声かけが上手く、家でも参考にしています」というコメントが寄せられています。   |    |   |   |   |

|   |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか  | 24 | 1 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が96.0%、「どちらともいえない」が4.0%です。自由記述には、「こまめに連絡いただけます」、「小さなことでも報告してくれます」、「親の期待以上の対応をしてくださり、頭が上がりません」というコメントが寄せられています。                                    |    |   |   |   |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか   | 19 | 0 | 0 | 6 |
| 回答割合は、「はい」が76.0%、「非該当・無回答」と回答した方が24.0%です。自由記述には、「子ども同士のケンカがあったときに、きちんと叱ってくれているのを見たことがあり、信頼しています」というコメントが寄せられています。   |    |   |   |   |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか   | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。  |    |   |   |   |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか  | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「きちんと守ってくれる気がします」というコメントが寄せられています。  |    |   |   |   |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか   | 25 | 0 | 0 | 0 |
| 回答割合は、「はい」が100%という高い評価を得ています。自由記述には、「お迎えの際の連絡事項がとても詳細で助かっています」、「毎日の様子を丁寧に話してくださり、保育園での様子を知ることができます」というコメントが寄せられています。  |    |   |   |   |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか  | 22 | 0 | 0 | 3 |
| 回答割合は、「はい」が88.0%、「非該当・無回答」と回答した方が12.0%です。自由記述には、「話し合いや要望がでたあとに、すぐに対応してくださいました」、「信頼できる先生方なので、きちんと対応してくれると思います」というコメントが寄せられています。                              |    |   |   |   |
| 17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか  | 12 | 2 | 2 | 9 |
| 回答割合は、「はい」が48.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「いいえ」が8.0%、「非該当・無回答」と回答した方が36.0%です。自由記述には、「入園時に資料で教えてくれました」、「こちらから教えてほしいとはなしたことがないので、園からも伝えてくれたことはありません」というコメントが寄せられています。 |    |   |   |   |

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

| No.   | 共通評価項目   |                             |
|---|--|-----------------------------|
| カテゴリ1   |  |                             |
| 1   | リーダーシップと意思決定   |                             |
| サブカテゴリ1(1-1)  |  |                             |
| 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている   |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b> |
| 評価項目1<br>事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している  |  | 評点(〇〇)                      |
| 評価  | 標準項目   |                             |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている                               | <input type="radio"/> 非該当   |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている                        | <input type="radio"/> 非該当   |
| 評価項目2<br>経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている  |  | 評点(〇〇)                      |
| 評価  | 標準項目   |                             |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている                            | <input type="radio"/> 非該当   |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | <input type="radio"/> 非該当   |
| 評価項目3<br>重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している  |  | 評点(〇〇〇)                     |
| 評価  | 標準項目   |                             |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている  | <input type="radio"/> 非該当   |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している   | <input type="radio"/> 非該当   |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている                                       | <input type="radio"/> 非該当   |
| カテゴリ1の講評  |  |                             |
| <p><b>基本理念について保護者にも職員にも理解を深めるしくみがあります</b></p> <p>園の基本理念について入園希望者には「パレット保育園 ご案内」に掲載して見学時に説明しています。また、保護者1～2名対象に開く入園準備会でも説明します。入園時と進級時には「パレット保育園 しおり」を配布して説明し、入園後の懇談会でも改めて説明します。また全ての職員が携帯しているハンドブックに基本理念を記載しており、年度初めの話し合いでは基本理念を踏まえた各クラスの目標を決めています。園の通路に理念を掲示し、施設内に関連記事を貼りだすなどして意識づけに努めています。</p> <p><b>本部から現場への権限移譲を受けて独自の活動などで成果が出てきています</b></p> <p>本部の中期計画では施設長への権限移譲により「現場主義」を進めることを掲げています。本部の方針を受けて、子どもの年齢構成の変化や開園して15年が経過した設備の老朽化に対応するため「こどもの安全・安心の環境づくり」と園独自の研修に取り組んでいます。独自研修の結果、園内の学習タイムは外部講師に代わり現場職員が主催できるようになりました。また環境整備に対しては蛍光管をLEDに取り替えて照度を高めたり、カラーボックスを購入してコーナー保育が容易な環境づくりを始めるなどの成果が見られます。</p> <p><b>重要事項の決定プロセスとその周知の方法について改善を進めています</b></p> <p>毎月開催する施設長会議に参加して保育事業本部と重要案件について擦り合わせをします。その結果を園に持ち帰り施設長と副施設長が園運営ミーティングを行って園内会議に諮ります。また緊急の案件は毎日の昼礼で周知しています。子どもの支援に関してはリーダー会議で、園の行事については行事会議で検討し決定しています。本年度は間近になって決めるのではなく、じっくり時間を取って内容を充実することを方針として掲げました。保護者には年2回の運営委員会や懇談会のほか新規導入したアプリケーションソフトを使って重要事項を伝えています。</p> |  |                             |
| カテゴリ2   |  |                             |
| 2   | 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行   |                             |
| サブカテゴリ1(2-1)  |  |                             |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している   |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>6/6</b> |
| 評価項目1   |  | 5/24                        |



事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(000000)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している                             | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している                        | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している        | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している                                   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している               | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

5/5

評価項目1  
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(000)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している                                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている                                 | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(00)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる                                    | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー2の講評

地域との交流を更に深めて積極的に情報を収集するしくみ作りを目指しています

保護者の利用する駐輪スペースの苦情に対応するため駅職員や飲食店と話し合いをし、保護者アンケートを実施して実態を把握し対策を立てました。その結果、安全に通行ができる視覚障害者の方から感謝されました。また、立地する二つの区で過去一年間に26か所の認可保育園が開設されたため利用者がほぼ総替わりとなるなど運営に大きな影響が出ました。こうした経緯から、地域情報収集の重要性を再認識しており、自治会や商店会、行政などから積極的に情報を収集することについて検討を進めています。

中期計画の着実な実行に努めています

法人保育事業部は各園からの情報を収集し、共通案件を全園が共有し対処できるしくみを作っています。また、福祉事業全体の動向や個別の園の経営状況を把握し、課題を抽出しています。そのうえで抽出した課題に対応した中期計画を策定します。中期計画の部分計画である損益計画は「損益モデル」を軸とし、運営計画は第三者評価・自己評価の実施と現場第一主義を推進すること、教務計画ではほかの園にはないカリキュラムの独自性によるオンリーワン戦略を、人事計画では保育士のスキルアップを掲げており、選ばれる保育園を目指しています。

事業報告書を充実し、本部中期計画を反映したより実践的な事業計画が望まれます

園の事業報告書は年度内にどのようなことを行ったのかについては書かれていますが、何が課題であって今年度どのレベルまで達成できたのかは必ずしも明確になっていません。課題を抽出し事業報告書を一層の充実したものにし、その課題を受け止めた、実効性のある事業計画書が策定されることが期待されます。また、事業本部が策定した中期計画の内容を園の単年度事業計画に反映させていくことも望まれます。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **2/2**

評価項目1  
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点(〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。                | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1  
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点(〇〇)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある          | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2  
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点(〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **5/5**

評価項目1  
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している     | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2  
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(〇〇〇)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる                   | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリ3の講評

法・規範・倫理について日常の中で意識化する工夫がされています

全ての職員が携帯しているハンドブックに仕事の心得や全国保育士会倫理綱領を掲載しています。また、毎月本部から送られてくる運営要項には守るべき法・規範・倫理に関連する記事が載っており、職員は読み合わせをしています。施設内に倫理綱領や「保育者が心がける基本のこころ」を掲示して注意を喚起し、園内会議や昼礼を利用して理解を深めています。法・規範・倫理に対する理解の深まりを反映してか、職員から自発的に質問や確認をする機会が増えてきており、職員の自己評価結果でも高い満足度を示しています。

保護者に向けた苦情解決制度についての理解を深めるしくみ、取り組みが求められます

職員に対してはハンドブックの苦情解決制度の項の読み合わせをするなどの話し合いの機会を持っていますが、園の苦情解決制度についての保護者の認識は高いとは言えません。園では入園準備会で保護者と「入園のしおり」の読み合わせをしており、その中で苦情解決制度についても説明しています。また事務室前の受付窓口の上方に制度説明を掲示していますが、アンケート等からも保護者の認識が高くないことが分ります。例えば、入園後の懇談会などの機会に改めて制度の説明をし、誰でも見やすい場所に制度説明の掲示をするなどの工夫が望まれます。

#### 地域の福祉ニーズに基づく貢献への積極的な取り組みが期待されます

園ではボランティアの一層の活用や園内行事に地域を巻き込む工夫などを課題としていますが、今年度駐輪スペースに関するトラブルをきっかけに駅の職員や飲食店と話し合いをおこない安全確保につなげました。また園の夏祭りでは卒園児が大勢きて祭りを盛り上げています。ハロウィンではあらかじめ商店街の店舗にお菓子を預けておき、子どもに渡してもらっているなど関係づくりの実績もあります。園では地域福祉ニーズに基づいた地域貢献の取り組みの幅を広げるために、商店街や駅職員、関係機関などとの交流を一層促進していく予定です。

#### カテゴリー4

#### 4 リスクマネジメント

##### サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

3/5

##### 評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○●●)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している  | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる                         | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる                                 | <input type="radio"/> 非該当 |

##### サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

4/4

##### 評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している                                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |

#### カテゴリー4の講評

事業所運営にかかるリスク全体の洗い出しと評価を進めることが望まれます

法人保育事業部には事故防止対策プロジェクトが置かれ、毎月発行する運営要項にリスク関連の情報が掲載されます。また、危機管理マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症予防マニュアルなどがあり、子どもを病院に連れていくときの判断基準はハンドブックに記載しています。事業運営を阻害する恐れのあるリスクを洗い出し対策の優先順位を付けることや事業継続計画の策定が課題となっていますが、本部が蓄積したデータの活用によりリスクを洗い出すことや地震対応のマニュアルを拡張するなどして事業継続計画に対応することが期待されます。

情報収集・利用・保管・廃棄までの情報管理に関する規程を策定しています

個人情報の保護や利用、開示請求などに関する各規程は整備されていますが、情報の種類ごとの対応を明確にする必要があります。また園が取り扱う情報全体の管理ルールを職員への周知は十分ではありません。支援サービスの情報は職員が1つのパスワードを使って運用していますので、閲覧履歴の把握に困難な部分も予想されます。また、運営規程に秘密の保持と記録の整備(保存期間)情報の収集については記載されていますが、今後は、利用、保管、廃棄について管理責任者と管理方法を職員などに周知徹底していくことが望まれます。

情報システムの活用を積極的に進めています

新アプリケーションの導入による、職員や家族の負担軽減とサービスの質の向上を目指した情報システムが稼働しています。連絡帳、園だより、クラスだより、献立表、お知らせ、行事後アンケート等は保護者のタブレットに配信しています。職員は新システムを使って月案、日誌、身体測定結果等を入力し、食事・検温・排便・午睡などは生活チェックにも使うことで時間節約を進めました。ほぼ順調に新システムに移行し、文書作成や生活チェックに要する時間の節減ができたため「振り返りタイム」を設けてサービス向上を進めています。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10/12

評価項目1  
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している                          | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2  
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(●●)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3  
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している                  | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している            | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4  
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている              | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる                                | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている                                 | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1  
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 |
|----|------|
|----|------|

|  |  |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している                      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる                     | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー5の講評

園が求める人材像や職務上の判断基準が明確に示されています

園がめざす保育園は「大きな家族」であり、家族のような温かい目で子どもたちを育むことのできる保育者を目指しています。ハンドブックに基本の規則やマニュアルを掲載しているほか年齢別の支援マニュアルや給食のマニュアルなどを充実させています。ハンドブックには施設長報告基準や職員判断基準を掲載しており、例えば施設長不在時には副施設長が判断し、副施設長も不在の時は職員会議により対応したのち施設長に報告するなどルールが明確で、業務上職員が主体的に判断できる基準を示しています。

キャリアパスへの取り組みが期待されます

園の求める職責・職務内容に応じた長期展望(キャリアパス)について職員に分かりやすく示すことが課題となっています。現在、保育士試験補助制度や学習プログラムの講師認定試験など保育者のステップアップの階層を作りつつあります。また、職員の能力はスタッフ面談シートや「できたかな表」を使って施設長と本人が確認・合意しています。園にはすでにしくみの基盤があり、その上に立った階層とそれに向けたステップアップの道筋を示すことが望まれます。

職員間のコミュニケーションを密にし処遇の改善をすすめています

小規模園の特性を活かして施設長と気軽に話ができる関係、悩み相談を受けられる雰囲気づくりに努めるなど日頃の会話を大切にしています。また、昼礼や振り返りタイムを設けて連絡事項や支援サービスの質の向上に結び付けるなどして職員間の良好な関係が生まれており、職員アンケートの結果にも表れています。休日の取得に当たっては職員の希望を100%実現できるように努力しています。園には社宅制度があります。また、住宅手当や資格手当のほか独自の学習プログラムの認定講師の手当もあり、資格取得に向けて積極的に支援をしています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者の負担を軽減するとともに利用しやすいサービスを提供すること、保育者業務を改善して働きやすい環境作りを目指した情報システムの改革をすすめています。連絡帳、園だより、クラスだより、献立表、お知らせ、行事後アンケート等を保護者のタブレットに配信したり、玄関ドアの施錠・入退室にカード使うことにしました。職員は、月案、日誌、身体測定結果等の入力と食事・検温・排便・午睡などの生活チェックについて新システムを利用することにより、時間の節約が進みました。この間、毎月施設長会議で話し合い、園内研修を開くなどしてアプリケーションソフトの扱いの習熟に努めました。そして、ほぼ順調に新システムに移行でき文書作成や生活チェックに要する時間は大幅に節減できました。こうした業務改善により「振り返りタイム」の時間を作り出し、保育の質の向上に結び付けることができました。さらに、自転車の置き方への外部からのクレームに対して地域の関係企業などと連携しつつ新システムのアンケートソフトを使って改善に結びつけるといった副次的な成果も生まれています。

|            |  |
|------------|--|
| 目標の設定と取り組み | <input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<br><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<br><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった                     |
| 取り組みの検証    | <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<br><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<br><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映    | <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<br><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<br><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である                     |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

法人では今後保育市場の競争が厳しくなることを想定して「選ばれる保育園」を目指した対策を進めています。その一環として法人保育事業部は平成28年度から31年度の3か年の中期計画を策定しICTプロジェクトを推進しています。しかし園の29年度事業計画書及び29年度事業報告書では情報システムの導入について記載していません。現実にプロジェクトは既に動き出しており、園も並行して積極的に進めていたことは会議資料などで確認できます。本件は法人全体としても大きな変革ですが、施設にとっても重要な変革です。今後、このように大きな課題については本部事業計画(中期計画)を踏まえて、事業報告書に成果と課題を明記し、その内容を次年度の事業計画書に反映させることが望まれます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

設立から15年が経過して施設の老朽化が進んでいることから、子どもたちに安全で過ごしやすい環境を提供するとともに、職員の作業環境についても改善することを目指して、園の施設設備の見直しに着手しました。具体的には階段部分の壁紙やカーペットの貼り替えやエアコンの更新、自由遊びの備品購入、給食室のコンロや換気扇の修繕などを目指しました。その結果、給食室に関しては本部と交渉を継続中ですが、他は概ね実現できました。本年度に入ってからカラープリンターの複合機を導入するなど引き続き設備環境の改善が進んでいます

|                   |  |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>                 |
| <p>取り組みの検証</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul> |
| <p>検証結果の反映</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>                 |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

法人保育事業部の中期3か年計画では「環境」に対して、定期的なチェック・手入れをすることで設備の使用寿命を延ばす、また、各園のOA基本装備モデルを明示しその中に複合コピー機が取り上げられています。また、毎月「設備保全チェックシート」による自己チェックを施設長に求めています。園の29年度事業計画では、毎月設備点検を行うことを明記し、備品の購入は器具などの破損の場合と購入希望の備品への対応が記載されていますが、具体的な備品設備等の環境改善についての言及はありません。29年度の事業報告書では、毎月設備点検を行い法人の管理窓口へ修繕依頼を行い随時対応しました。備品の購入希望がある場合は上長へ申請し、決裁を仰いだとされています。今年度の事業計画では施設・設備の修繕や備品購入について29年度の事業計画書と同じ文章になっています。この間進めてきた園内施設・設備の環境改善については、触れられていません。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

| No.  | 共通評価項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| サブカテゴリ-1   |  |                           |
| 1  | サービス情報の提供  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5      |
| 評価項目1<br>利用希望者等に対してサービスの情報を提供している  |  | 評点(00000)                 |
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している                           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している                                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実態があった場合には、個別の状況に応じて対応している              | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ-1の講評  |  |                           |
| <p>ホームページやしおりを用いて、園の利用希望者等に情報提供しています</p> <p>ホームページ、しおりを用いて、園の情報を提供しています。ホームページには、保育理念や方針、概要と費用、フロアガイド、よくある質問のQ&amp;Aなどを掲載し、写真やイラストを用いて見やすく親しみやすいように工夫しています。ホームページは、毎月更新し、最新の空き情報や子どもたちの様子を載せています。しおりを品川区役所に置くとともに、品川区のホームページにも園の情報を提供しています。</p> <p>見学会では、利用希望者がイメージしやすいよう動画や実演を見せるなどしています</p> <p>月1回、土曜日に見学会を実施しています。見学会は午前・午後の2部制で1回につき15組まで受付ています。施設長、副施設長、保育士が担当し、しおり(見学者用)とプロジェクターを用いて、園の理念や保育内容などについて分かりやすく説明し、園内を見学してもらっています。散歩先の公園、食事などの写真や園生活の動画、園独自のプログラムの実演や給食のサンプル展示など、保護者がイメージしやすいように工夫しています。見学者には、お客様シートに名前や連絡先などを記載してもらっています。</p> <p>受け入れが困難な場合には、区役所につなぐなど支援しています</p> <p>見学会への出席が難しい保護者に対しては、施設長、副施設長が個別に対応しています。障害児の受け入れについては、医療的ケアが必要かなどの状況を確認し、園の構造上の問題や職員体制などを考慮して、判断しています。受け入れられない場合には品川区につなぐなどしています。また、病後児保育室などの情報を提供しています。</p> |  |                           |
| サブカテゴリ-2   |  |                           |
| 2  | サービスの開始・終了時の対応   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6      |
| 評価項目1<br>サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている  |  | 評点(000)                   |
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている                             | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している                        | <input type="radio"/> 非該当 |

|  |  |                           |
|--|--|---------------------------|
| <b>評価項目2</b><br>サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている          |  | <b>評点(〇〇〇)</b>            |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>                                      |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

**サブカテゴリ-2の講評**

**準備会、入園・進級説明会で基本的ルールや重要事項を保護者に丁寧に説明しています**  
 入園前には1、2組ずつの準備会を実施し、しおり(会員用)にある重要事項説明書を用いて、園の理念や方針、保育内容、料金や保育教材などの費用、2歳児までの施設であること、個人情報の取り扱いなどを説明しています。その上で、保護者が納得できるよう疑問に答えて同意を得、入園確認書(契約書)にサインをもらっています。準備会では、保護者の意向や要望も聞いています。3月には、全保護者対象の入園・進級説明会を実施し、具体的な保育の内容や約束事、準備する物などについて、説明しています。

**慣らし保育をおこなうなど、子どもがスムーズに園生活を始められるよう支援しています**  
 準備会で保護者に説明し、慣らし保育を実施しています。慣らし保育は子どもが園生活をスムーズに始められるよう最低限1週間を目安におこない、それ以降は子どもや保護者の状況に合わせて話し合いながら調整しています。入園当初は、タオルなど子どもが心理的拠り所とするものの持ち込みを認め、主に担当する保育者を決めています。保護者とは毎日、メールで子どもの様子について情報共有するとともに、送迎時には口頭で園での子どもの様子を伝えて保護者の相談にのり、保護者の不安が解消するようにしています。

**2歳児までの施設であるため、転園がスムーズに運ぶよう支援しています**  
 入園時に、2歳児クラスまでの保育園であるため途中で転園する必要があることを保護者に説明し、同意を得ています。2歳児クラスの途中でアンケートをとり、転園への取り組み状況を聞き、相談にのるなどしています。転園先が見つからない人には、同法人が運営する認証園の空き状況の情報を提供するなどしています。4月までに転園先が決まらない場合には、見つかるまで受け入れ、3歳児に合わせた活動を取り入れるなどしていますが、現在、3歳児は在籍していません。また、転園がスムーズに進むよう、転園した保護者からの相談にものっています。

**サブカテゴリ-3**

|          |              |                  |              |
|----------|--------------|------------------|--------------|
| <b>3</b> | 個別状況の記録と計画策定 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | <b>12/12</b> |
|----------|--------------|------------------|--------------|

|  |  |                           |
|--|--|---------------------------|
| <b>評価項目1</b><br>定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している |  | <b>評点(〇〇〇)</b>            |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>                                  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している          | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている                 | <input type="radio"/> 非該当 |



評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(00000)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている            | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている                                 | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(00)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある                           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(00)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している          | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー3の講評

個人面談などで保護者の意向を確認し、個別指導計画作成に活かしています

子どもや家庭の状況、入園までの生活状況、保護者の意向、子どもの既往症や健康状態などは、入園時に保護者に個人カルテ、健康カルテに記載してもらい、把握しています。日々の子どもの様子は、個人別の日誌に記載し、月ごとに生活状況の記録、成長発達記録にまとめています。保護者の意向は、日々の保護者との会話や個人面談で聞いています。年1回の個人面談のほか、離乳食の段階を進める時などにも個人面談を実施し、保護者の意向を丁寧に把握しています。これらの情報を基に、クラス会議で話し合い個別指導計画を作成しています。

全体の計画に基づき、養護と教育の各項目を網羅した指導計画を作成しています

クラスで作成した案を基に、リーダー会議で全員の子ども様子について話し合い、クラスごとの年間指導計画、月案、週案を作成し、園内会議で共有しています。指導計画は全体の計画に基づき、養護と教育の各項目を網羅したものとなっています。クラスごとの月案とともに、個別月案も作成しています。月案は毎月、年間指導計画は3か月に1回見直すほか、子どもの様子に変化があった時には、その都度クラスや屋礼で話し合い、見直しをしています。保護者に対しては、入園・進級説明会で説明するほか、懇談会で担任が具体的に説明しています。

毎日、「振り返りタイム」や屋礼を実施し、子どもの様子について情報共有しています

新アプリケーションソフトの導入を進めた結果、現在、指導計画、日誌、身体計測の結果、生活チェック(食事、排泄、午睡等)、保護者との連絡などをタブレットで見ることができ、必要な職員がいつでも確認できるようになりました。週案は日誌を兼ねていて、ねらいに沿って保育が実践されているかを日々確認することができます。クラスの「振り返りタイム」でその日の保育の振り返りをするとともに、屋礼、月1回の園内会議で情報共有を図っています。屋礼に参加しなかった職員へは、ミーティングノートで伝達しています。

| サブカテゴリー5   |   |                           |     |
|--|---|---------------------------|-----|
| 5  | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重                                      | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況         | 5/5 |
| 評価項目1<br>子どものプライバシー保護を徹底している   |   | 評点(〇〇)                    |     |
| 評価   | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている   | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている                                 | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| 評価項目2<br>サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している   |   | 評点(〇〇〇)                   |     |
| 評価   | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している                              | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている                        | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている           | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| サブカテゴリー5の講評  |   |                           |     |
| <p>個人情報の取り扱いについて、入園時に保護者に説明し、同意書を取っています。</p> <p>入園説明会や進級説明会で、個人情報の取扱い方法について説明し、「個人情報の取扱いに関する同意書」を保護者に提出してもらっています。園便りやホームページへの掲載については、同意できる範囲について保護者の意向を確認しています。オムツ替えの時にはカーテンを下ろして外から見えないようにする、トイレ前にカーテンを設置して他の子どもから見えないようにするなどの、子どものプライバシーへの配慮をしています。プール遊びのときは、通行人から見えないようにブルーシートで囲っています。</p> <p>「振り返りタイム」でその日の保育を振り返り、子どもの気持ちを大切に保育しています</p> <p>ハンドブックに、倫理綱領やスタッフの使命と行動原則などを記載し全職員に配付するとともに、園内研修で読み合わせをしています。日々のクラスでの「振り返りタイム」では、言葉かけなど子どもへの関わりについて話し合っています。入園時に子どもや家庭の状況を聞き取り、一人ひとりに合わせた対応をしています。外国籍など生活習慣や価値観の違いにも個別に対応し、保護者の相談に応じています。子どもがやりたくないと言ったときには、強制することなく子どもの気持ちを受け止め、自分からやりたくなるタイミングを見て、誘っています。</p> <p>「児童虐待防止マニュアル」を整備し、全職員で見守る体制を作っています</p> <p>園では、「児童虐待防止マニュアル」を整備し、虐待が明らかになった場合や疑わしい場合には品川区児童相談所や品川区子育て支援センターなどの関係機関と連携する体制を整えています。品川区虐待防止ネットワークに参加し、園内会議で職員に周知しています。0歳児は朝の受け入れ時に、1・2歳児は着替え時に身体をチェックをしています。子どもの様子は記録して昼礼で情報共有し、全職員で見守る体制を作っています。また、施設長は朝の保護者の表情を見守り、気になる時には声をかけたり、保護者の相談にのったりしています。</p> |   |                           |     |
| サブカテゴリー6   |   |                           |     |
| 6  | 事業所業務の標準化   | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況         | 5/5 |
| 評価項目1<br>手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている   |   | 評点(〇〇〇)                   |     |
| 評価   | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている    | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している          | <input type="radio"/> 非該当 |     |

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

| 評価      | 標準項目  |      |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている                       | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 |

サブカテゴリ6の講評

各種マニュアルを整備し、定期的に見直しをしています

保育内容や給食、事故防止マニュアル、感染症予防マニュアル、安全管理マニュアルなどの各種マニュアルを整備し、「マニュアル・規定集」にまとめています。「マニュアル・規定集」はいつでも確認できるよう事務室に置き、4月の園内会議で読み合わせをしています。マニュアルの大きな改訂は、2年に1回法人本部でおこなっていますが、感染症や事故防止などは毎年見直しをしています。また、クラス別と給食の保育マニュアルがあり、関係する職員に配付し、クラスの「振り返りタイム」や給食会議で読み合わせをし、現状にあわせて随時見直しをしています。

日常的に活用できるよう、必要な事項をまとめたハンドブックを全職員に配付しています

保育理念や方針、倫理や行動原則、具体的な保育内容、非常時や緊急時のマニュアル、病院に行くときの判断基準などをコンパクトにまとめたハンドブックを作成し、全職員に配付しています。ハンドブックの内容は毎年見直しをし、4月の園内会議で読み合わせをしています。ハンドブックは年度の手帳と一緒にあって、保育者が日常的に持ち歩き、活用できるように工夫されています。また、緊急時の対応や下痢嘔吐処理の方法などは、分かりやすいフローチャートにまとめ、いつでも確認できるよう保育室に掲示しています。

園内会議や昼礼、運営委員会などで職員や保護者の意見を把握し、改善に活かしています

園は、園内会議やリーダー会議、昼礼などの話し合いや運営委員会で職員や保護者の意見を把握し、サービスの見直しや改善に活かしています。職員から出た意見を基に、照明の入れ替え、おもちゃや絵本の購入、保護者からの要望で口頭での伝達を増やすとともに連絡メールの記載の仕方を見直した、などの事例があります。また、ICT化によってできた時間をクラスの「振り返りタイム」にあて、毎日自分たちの保育を見直すようにした結果、保育者の気づきが業務の改善につながる効果がでています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 35/35

1 評価項目1

子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

評点(00000)・非該当1

| 評価   | 標準項目   |                                      |
|--|--|--------------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている                  | <input type="radio"/> 非該当            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している             | <input type="radio"/> 非該当            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している                    | <input type="radio"/> 非該当            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | <input type="radio"/> 非該当            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている           | <input type="radio"/> 非該当            |
| <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】<br>小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている             | <input checked="" type="radio"/> 非該当 |

評価項目1の講評

子どもの興味や関心を広げられるよう、環境設定や保育内容の見直しをしています  
園内会議やリーダー会議、昼礼でクラスや子どもの様子について話し合い、子どもの発達段階や興味、関心にあわせて環境設定や保育内容を見直しています。1・2歳児保育室はワンルームを用いていますが、活動に応じて保育室を仕切ったり、子どもがおもちゃを自由に取  
り出して遊べるコーナーを作るなど、子どもが主体的に遊べるよう環境設定を工夫しています。また、子どもの興味から虫を夏祭りのテーマにしたり、子どもが好きな絵本に出てくる葉を使った制作物を保育者が作り誕生会で子どもに披露するなど、子どもの興味や関心を保育に反映しています。

全職員で全園児の情報を共有し、個々に応じた対応をしています  
保育者は子ども一人ひとりに寄り添い、個々の子どもの状況や成長に応じた保育を心がけています。一人ひとりの子どもの様子や食物アレルギーの情報などは毎日の昼礼や園内会議で職員間で共有し、同じ対応ができるようにして、小規模保育園ならではの良さが発揮されています。障害など特別な課題がある場合には、家族と連携し、地域療育センターなどからの情報を伝えてもらって職員間で情報共有し、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう支援しています。

子ども同士のトラブルでは、双方の子どもの気持ちを受け止め、仲立ちしています  
子ども同士のトラブルに関しては、園内研修で取り上げ、双方の気持ちを大切にした対応をするようにしています。かみつぎなどは、保育者が間に入って止め、仲立ちしています。子ども同士のけんかに関しては、それぞれの気持ちを受け止めて言い分を聞き、お互いの気持ちを言葉で伝えられるよう仲立ちしています。保護者に対しては、降園の際に、当事者双方に経緯やそのときの対応を伝えています。

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(0000)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている               | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2の講評

家庭との連絡手段をICT化し、速やかに多くの情報を伝達できる環境になりました

保護者と園の情報交換は、以前までの紙ベースの連絡ノートから、新アプリケーションソフトの導入によりタブレット上へと変換しました。この仕組みにより、園と家庭での、24時間の基本的な生活記録を共有すると共に双方のコメントも丁寧に記載し明確な情報交換が出来る体制があります。この情報を基に、登園時には子どもの様子を口頭で聞き取るように心がけています。また、全園児受け入れの際に、子どもの様子に変わったことがないかの確認を、保護者と一緒にする配慮をしています。

離乳食の段階変更やトイレトレーニングは、家庭と連携し丁寧に進めています

園の全体的な計画には食事欄に月齢に即した特徴・量・食べ方などを具体的に明記しています。保育者はこの計画に則り適切な援助をおこなっています。離乳食の進め方は、段階ごとに保護者・施設長・栄養士・保育者が参加して離乳食面談をおこなう、きめ細かな対応をしています。トイレトレーニングは、子どもが便器での排泄に興味を持つタイミングを捉えて、保護者と話し合いながら進めています。午睡については、家庭での睡眠時間や発達の状況に応じた対応をしています。

当日の子ども様子は、記録を基に一人ひとりの保護者に口頭で伝えています

お迎えの保護者には、その日の活動内容や子どもの体調などを口頭で伝えることに加え、一人ひとりの保護者との会話を大切に作る姿勢があります。クラスには「保育者引継ぎ連絡表」を備え、子どもに関する、伝達が必要な事柄を記録しています。シフトによる保育者の交代があってもこの引継ぎにより確実な連携で、保護者に子どもの状況を伝えています。また、玄関にはホワイトボードを置き、各クラスのその日の活動の様子を掲示して保護者に見てもらっています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている        | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している                    | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3の講評

子どもの生活が自主的なものとなるような環境作りを続けています

子ども自身が主体性のある遊びに取り組むための環境作りを注いでいます。コーナー遊びの場所の設定、自由遊びの時間設定、散歩等の屋外遊びの充実といった、保育全体に関する環境に加え、絵本やおもちゃ、文具といった具体的な物の環境整備まで、子どもにとってより良い遊びとなるように職員が一丸となって検討を続けています。子どもが自分の大切な遊びの時間を継続できるように、子どもの制作物などはその週の金曜日まではクラスに置いておける決まりを作っています。

子どもの表現する力を育てるプログラムを取り入れています

法人では子どもの感性・知性・体力をバランスよく育てるためのプログラムを作っています。遊びを通して、子どもたちの持つ力を大きく育てていく取り組みです。音楽に合わせて身体を動かす「いっしょにダンス」、絵本の読み聞かせを通して想像力を培う「おはなしいっぱい」などもプログラムの一環です。日常の保育においても、食育活動で使ったトウモロコシやそら豆の皮、古新聞などを使った廃材遊びなど、子どもの豊かな好奇心を刺激して様々な形で表現力を育てています。

毎日の散歩では、自然の中で季節を感じながら外遊びを楽しんでいます

園は駅に直結している建物にあり、園庭はありませんが、天気の良い日は毎日散歩に出かけています。散歩先を数か所設定し、子どもの興味や発達に応じて距離や行き先を選択しています。近隣には豊かな自然に触れることの出来る公園や散歩道もあり、子どもたちは季節を感じながら日々の外遊びを楽しんでいます。散歩で拾ってきた枯葉で作ったコラージュが、園の入り口に続く階段に次々と飾られています。保育者が子どもたちのために作った枯葉の動物も飾られていて、行き帰りの子どもの目に触れ、散歩の嬉しさが膨らんでいます。

| 4 評価項目4<br>日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している                     |   | 評点(〇〇)                    |
|--|---|---------------------------|
| 評価   | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目4の講評

行事は子どもに無理のないよう、日常の生活をそのまま見てもらっています

夏まつり・運動会・生活発表会・親子レクリエーション等の行事をおこなっています。日常の保育で子どもたちが親しんでいるダンスや楽器遊び、絵本の読み聞かせ時にみんなで楽しんでいる手遊び等を、そのまま運動会や生活発表会で披露しています。0歳児から2歳児までの園であり、行事のための取り組みではなく、あくまでも日々の子どもの様子をいつも通りに保護者に見てもらう姿勢です。

保護者と共に子どもたちの成長を喜ぶことができる行事を実施しています

園で実施する行事については、保護者参加の行事を明記した年間行事予定表を年度始めに保護者に配付して、保護者が参加しやすいように配慮しています。行事で使用する部屋飾りの制作物を各家庭で作ってもらうなどの協力を依頼し、保護者と共に子どもの成長を喜ぶことができる行事を目指しています。例年、保護者の理解を得て多くの参加者があります。

| 5 評価項目5<br>保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている                    |  | 評点(〇〇)                    |
|--|--|---------------------------|
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている              | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目5の講評

一人ひとりの子どもにとっての安心できる環境設定を考慮しています

保育時間の長い子どもが帰宅の時間まで飽きずに園で寛いで過ごすことができるように、月案には「長時間にわたる保育」欄を作成しています。それぞれの年齢に即した、個別の対応や安心できる環境作りなど具体的な子どもへの配慮を、毎月検討しています。延長保育の子どもには、保護者の希望により夕おやつや夕食を提供していますが、保護者からの急な申し出にも対応できる体制を整えています。夕おやつは当日の17時まで、夕食は当日の12時までの連絡に応えられるよう、準備をしています。

子どもが、帰宅時間まで穏やかな気持ちで過ごせるように寄り添っています

園児数が少ない朝夕の時間帯は異年齢の合同保育をおこなっています。園で朝からの長い時間を過ごした、夕方の時間は特に、各子どもの意見や希望をできる限り取り入れ、子どもがストレスなく穏やかな気持ちでお迎えを待つことができるよう配慮しています。日中は他の子どもたちと一緒に使うお気に入りのおもちゃを一人で遊び込めるようにしたり、子どもが休息したい様子であれば場所を作ったりするなど、一人ひとりの子どもとより向き合い、気持ちに寄り添う保育をおこなっています。

| 6 評価項目6<br>子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している                     |   | 評点(〇〇〇〇)                  |
|--|---|---------------------------|
| 評価   | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している         | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている                       | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目6の講評

給食の献立は各地の郷土食も加わりバラエティー豊かです

給食については、法人の栄養士が加わり、毎月給食会議をもっています。会議では子どもの喫食状況を報告し、次回の献立作成に反映しています。献立は季節の食材を使った料理や行事食、さらに各地の郷土料理として長崎のちゃんぽんや山形のだしご飯、秋田のいものこ汁、沖縄のサーターアンダギーなども加わるバラエティーに富んだ内容です。お誕生日ケーキについても季節の野菜や果物を用いた、手作りのケーキを提供しています。

食物アレルギーを持つ子どもには、医師の指導により、除去食の提供をしています

食物アレルギーを持つ子どもの給食は、医師からの生活管理指導表及び保護者からの除去食申請書の提出に基づいて、除去食で提供しています。他の子どもの動線を考慮した席の設定をし、他児と違う色のトレイを用い、名札をつけ、保育者がテーブルについて安全な食事提供をしています。前日の昼礼では、除去食材の確認をおこない、関係する職員間での共有を徹底しています。また、文化や宗教の違いによる除去食材についてもできる限り対応する姿勢であり、対応が困難な場合には家庭からの弁当の持ち込みを依頼しています。

子どもが日々の食事に興味を持てるように楽しい工夫をしています

月齢や年齢に即した年間食育計画を、栄養士が作成しています。子どもが食事に興味や関心を持ち食事時間を楽しく過ごせるように、保育者は食材の名前を話したり食べられたことをほめたりして援助しています。野菜の皮むき等で食材に触れる経験をさせる他、「物語メニュー」として、読み聞かせる絵本に関連付けた工夫のある献立作りをしています。『くれよんのくろくん』からは人参の海苔巻きがクレヨンに、『おむすびころりん』に合わせておむすびのおやつ等、子どもが日々の活動から楽しくイメージがつながるように考えられています。

| 7 評価項目7<br>子どもが心身の健康を維持できるよう援助している                           |  | 評点(〇〇〇〇)                  |
|--|--|---------------------------|
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している              | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している  | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目7の講評

子どもが手洗いやうがい子ども自身の健康を維持するように援助しています

子どもの健康に関する年間保健計画を、季節的な必要事項を含めて作成しています。子どもの年齢や発達に合わせ、子どもが自ら出来るように手洗いの励行やうがいの指導、水分補給等を組み込んでいます。毎月の園便りには「健康・保健衛生メモ」とした子どもの健康に関する欄を設け、保護者にも予防や注意事項を具体的に伝えています。園でおこなっている子どもの健康維持に関する事柄を保護者にも理解してもらい家庭と連携して子どもを支えます。

午睡時の呼吸チェックを、全園児に対して実施しています

乳幼児突然死症候群を予防する対策として、午睡時には0歳児は5分毎、1歳児は10分毎、2歳児は15分毎に、全園児対象で呼吸チェックをおこなっています。「睡眠チェック手順」には、睡眠時の姿勢確認などの8項目をわかりやすく示しています。法人の衛生管理チームや事故防止チームが作成した様々な手順書を保育室内に掲示しています。感染症に関する保護者への情報連絡は掲示と口頭で、迅速かつ明確に伝達しています。万一感染症が疑われる症状が出た場合に備え、事務室には簡易ベッドを用意しています。

新たな入園児による、在園児の不安やストレスにはより細やかな配慮をしています

新たな子どもの入所によるクラス的环境変化に、在園児が不安を感じることをないように細やかな対応を心がけています。不安そうな子どもには、不安が和らぐまで保育者が抱いてあげられるような職員配置をしたり、ストレスを感じていると思われる子どもには気持ちを発散できる環境を作る配慮をしています。出来るだけ特定の保育者が関わるようにすることで、子どもが安心して集団生活を楽しめるように考慮しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目                                      |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている       | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている                    | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている            | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している         | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目8の講評

保護者間の交流の機会を多く持ち、子育ての楽しさや悩みを共有してもらっています

保護者同士が交流できる機会としては、懇談会や進級説明会などの全体会や園行事があげられます。園の保護者参加の行事には、夏祭り・運動会・生活発表会などがあり、子どもと共に保護者同士の懇親を深める機会ともなっています。また、年に1回、子どもと保護者を対象に「親子レクリエーション」をおこなっています。会の内容はスキンシップ体操・絵本の読み聞かせ・離乳食クッキング等の育児講座を楽しくレクリエーションとして提供しています。園行事への保護者の参加は大変多く、ほぼ全員の参加があります。

送迎時の会話などにより保護者との信頼関係を深めるように心がけています

保護者と職員の信頼関係構築の基本である、送迎時の保護者との会話は丁寧におこなわれています。また、ICTシステムの導入により、園からは日々の園生活の様子を文章や写真で送信し、家庭との情報交換が円滑におこなわれています。さらに、年1回の懇談会・個人面談・進級説明会等を実施するほか、必要に応じて随時保護者と面談し、園の保育方針への理解を深めてもらうことにより、保護者と連携して、子どもの心身共の豊かな成長を支えています。

保育参観をいつでも受け入れ、保護者に日々の保育の様子を見てもらっています

保育参観を随時受け入れています。保育園での子どものそのままの姿を見たい保護者は、保育室内に入らずドア越しの様子を見てもらっています。身近に保育を見たい保護者は室内に入り、保育参加しながら、様子を見てもらっています。また、「パレット学習タイム参観」も毎年実施しています。開催日を2日間設定し、ほぼ全員の保護者が参加しています。法人で取り入れている、子どもの脳力開発プログラムの様子を見てもらう取り組みですが、このプログラムの内容は、タブレットで保護者はいつでも見ることが出来ます。



|  |   |                           |
|--|---|---------------------------|
| 9 評価項目9<br>地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている   |   | 評点(〇〇)                    |
| 評価   | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している                      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目9の講評   |   |                           |
| <p>毎日の散歩で出会う地域の人々と、挨拶や会話を交わす和やかな交流があります</p> <p>毎日の散歩には地域の公園や児童センターを、日常的に活用しており、散歩先の公園では地域の親子連れの人々と挨拶や会話を交わすように心がけています。また、卒園した子どもが通う他園と出会うことも多くあり、子どもや保育者との交流を和やかに続けています。散歩の行き帰りに通る駅前商店街の人々とは顔なじみとなっており、日々の挨拶を通して地域の人々が子どもたちを温かく見守ってくれる良い交流があります。ハロウィンでは、商店に子どもたちへのお菓子プレゼントを依頼する取り組みを始めています。</p> <p>地域への働きかけを、さらに活発におこなう検討を始めています</p> <p>近隣小学校が実施する、地域に向けた吹奏楽の音楽会に子どもたちが毎月出かけています。また、園の夏まつりには地域の高齢者施設に招待状を届けていますが、実際に参加して頂くまでには至っていません。園は、こうした地域への働きかけについて課題と捉え、地域に向けた子育て支援の取り組みとして、散歩先の公園で地域の子どもと一緒に紙芝居を楽しんでもらう企画や、高齢者施設や商店街の人々と子どもたちの、さらに踏み込んだ交流をするための工夫などの検討を始めています。</p> |   |                           |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① |   |                          |
|--------------------|---|--------------------------|
| 評価項目               | 5-1-4   | 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる |
| タイトル①              | 職員のコミュニケーションを大切に働きやすく働きがいのある職場づくりを進めています  |                          |
| 内容①                | 園は保護者や子どもたちも含めた「大きな家族」として子どもたちを育むことを目指しています。職員も「大きな家族」の一員として気軽に話ができて、悩み相談を受けられる雰囲気づくりを進めています。昼礼や「振り返りタイム」や振り返りシートを通して日々のサービスの質の向上と職員間の連携を深めています。職場のルールはハンドブックに記載され明確になっており、休暇については希望休を100%実現できるように努力しています。資格手当、能力開発プログラム手当など努力の成果が昇給につながるしくみが働きがいにつながっています。 |                          |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② |  |                           |
|--------------------|--|---------------------------|
| 評価項目               | 6-3-3  | 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している |
| タイトル②              | ネットワーク上で指導計画や子どもの記録を管理・共有し事務の効率化が図られています   |                           |
| 内容②                | 指導計画、日誌、身体計測の結果、生活チェック(食事、排泄、午睡等)、保護者との連絡などをネットワークで一括管理しています。パソコンはパスワードでアクセス制限されていて、全職員が必要な時に見ることが出来、情報共有が進んでいます。週案が日誌を兼ねているので、記載しながら保育内容がねらいに沿っているか、計画が今の子どもの発達段階に沿っているかを確認することができます。また、空いた時間を振り返りにあてたり、全職員が共有することで希望休が取りやすくなったなど、事務効率化による成果が出ています。 |                           |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ |  |                               |
|--------------------|--|-------------------------------|
| 評価項目               | 6-4-6  | 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している |
| タイトル③              | 毎日の食事が子どもにとって大きな楽しみとなるように様々な工夫をしています   |                               |
| 内容③                | 子どもが食事に興味を持ち食と楽しく向き合えるように月齢や年齢に即した年間食育計画を作成しています。子どもたちが野菜をつまみ、「これなに？」と問いかけるような食への興味が育っています。法人では「食育カレンダー」として毎月の献立表に工夫を凝らした取り組みを載せています。各地の郷土色メニューにより、子どもたちは変化にとんだ料理の体験をし、物語メニューではその月の読み聞かせ絵本を題材にした献立により、保育活動とつながる興味を持たせています。季節感を重視したバラエティー豊かな食事が子どもの心と健康を支えています。 |                               |

| No. | 特に良いと思う点     |   |
|-----|--------------|---|
| 1   | タイトル         | 保護者とのより良い信頼関係を構築するために一人ひとりの保護者との情報交換をていねいにおこなっています  |
|     | 内容           | 職員の行動基本原則を「余裕」とし、子どもにも保護者にも丁寧に一人ひとりに向き合う時間を大切にしています。送迎時の会話はもとより、新アプリケーションシステムの導入により迅速かつ明確な伝達ができる体制となりました。連絡帳や園便りを始めとする様々な連絡事項のほとんどを、保護者とタブレットで送受信することにより、子どもの園生活が、より身近に捉えられ保護者の安心感につながる結果を生み出しています。こうした工夫により、園行事や保護者懇談会・個人面談・進級説明会等へはほぼ全員の保護者が参加しています。          |
| 2   | タイトル         | クラスでの「振り返りタイム」での話し合いを始めることにより、職員間のコミュニケーションがよりよくなっています  |
|     | 内容           | 新アプリケーションの導入により記録にかかった時間が短縮し、空いた時間を毎日のクラスでの「振り返りタイム」にあてています。「振り返りタイム」では、ねらい、言葉かけ、環境・衛生・事故などについて振り返りをしています。その結果、保育の内容が計画のねらいや配慮により沿ったものになっただけでなく、職員の意識が高く業務の改善につながっています。また、職員間のコミュニケーションがさらによくなり、先輩職員の保育の目的がきちんと若手職員に伝わるようになり、自分たちの保育へ自信がもてるようになりました。            |
| 3   | タイトル         | 保育の活動内容は子どもの発達に即した独自のプログラムを取り入れています   |
|     | 内容           | 法人では、子どもの感性・知性・体力をバランスよく育てるための幼児教育に力を注いでいます。日々の保育活動には、ことば遊びや絵本の読み聞かせ、歌やダンス等を体系的に捉えたプログラムを取り入れています。それぞれの活動は年齢別におこなうもの、異年齢合同でおこなうものを組み合わせ、子どもの年齢や発達に合わせた内容となっています。子どもたちは毎日の園生活の中で保育者や友だちと楽しく遊びながら、心と身体の育ちを得ています。  |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |   |
| 1   | タイトル         | 園を取りまくニーズの収集と分析を更に積極的に進めることが望めます  |
|     | 内容           | 昨年園の周辺地域に多くの認可保育園が開設され、その影響などから利用者がほぼ総入れ替えとなりました。また、保護者の自転車の置き方について苦情が寄せられ、解決に向けて駅職員や飲食店とも話し合うなど、地域情報の把握や地域との良好な関係が園の運営に重要であることが改めて明らかになりました。本部や行政からの情報提供を受け取るだけでなくより積極的に情報収集したり、近隣の商店会や自治会に参加するなどして環境変化に素早く的確に対応する力を高めていくことが求められています。                          |
| 2   | タイトル         | 子どもたちの生活の幅を広げるとともに、園の存在を地域に認識してもらうために、地域との関わりをさらに深めていくことが期待されます   |
|     | 内容           | 子どもたちは近隣を散歩し地域住民と交流していますが、高齢者施設のお年寄りやほかの保育園の子どもたちと交流することはしていません。また、育児相談や交流保育などの育児支援も今後の課題となっています。地域に認可園が多数新設されていることもあり、特色ある園の存在を地域住民に認知してもらうことは運営上からも必要です。地域で子育てする親子向けに保育園体験をおこない育児相談にのる、公園で遊ぶ母子に呼び掛けて読み聞かせをする、あるいは地域の商店街と交流する機会を増やしていくなど地域との関わりを深めていくことが期待されます |
| 3   | タイトル         | 更なる保育環境の改善を進めていくことが期待されます   |
|     | 内容           | 開園して15年が経過し設備の老朽化や子どもの年齢構成の変化等に対応した「こどもの安全・安心の環境づくり」に取り組んでいます。階段部分の壁紙やカーペットの貼り替えを行い、エアコンを更新して室温を安定させ、蛍光灯からLED管に交換して照度を高めました。また自由遊びの備品を購入したり、カラーボックスを導入してコーナー保育への環境づくりをしました。今後、子どものトイレや給食室の設備の改修、古くなり汚れてきた教材等の更新など更なる環境改善に取り組むことが期待されます。                         |

---

## 福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : [www.yresearch-center.jp/](http://www.yresearch-center.jp/) E-mail : [top@yresearch-center.jp](mailto:top@yresearch-center.jp)



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02

---